

幡羅中だより



第19号
令和4年10月27日(木)

高く志を抱き 心豊かに
たくましく生きる生徒の育成
心を磨く生徒 本気で学ぶ生徒 体を鍛える生徒
学校発展の原動力「信頼・責任・協力」を大切にし、
「文武両道」を実現し、地域と共に歩む学校をめざす

11月

” 幡羅の歌声 響かせる!! 我ら令和のベートーヴェン ” ～ 3年ぶりの音楽会 ～

10月24日(月)、深谷市民文化会館大ホールにて、「幡羅の歌声 響かせる!! 我ら令和のベートーヴェン」のスローガンのもと、幡羅中学校音楽会を開催しました。全校生徒にとって、初めてとなる音楽会は、大変な賑わいを見せました。歌に込める思い、表現力、調和された歌声、どれをとっても見事なものでした。クラスの絆を更に深めることができました。また、音楽部、職員による合唱が彩りを添え、まさに、文化薫る、芸術の秋にふさわしい行事となりました。

御協力いただきましたPTA理事の皆様をはじめ、保護者の皆様、有り難うございました。

審査の結果、金賞に輝いた3年3組と2年5組が、11月2日に行われる「深谷市中学校音楽会」に出場することが決まりました。代表としての素敵な歌声を披露してください。



1年1組 未来へのステップ

1年2組 あゝ素晴らしい愛をもう一度

1年3組 新しい世界へ

1年4組 マイ・バラード

1年5組 変わらないもの



2年1組 旅立ちの時

2年2組 生きている証

2年3組 信じる

2年4組 時を越えて

2年5組 空駆ける天馬



3年1組 足跡

3年2組 虹

3年3組 群青

3年4組 ヒカリ

3年5組 友



音楽部による演奏披露



11月の行事予定

日	曜	11月行事
1	火	第3回実力テスト(3年) ステップアップレッスン(SUL) 第2回進路説明会(3年)
2	水	交通安全指導日 深谷市中学校音楽会 生徒会専門委員会 弁当の日(給食なし)
3	木	文化の日
4	金	小中合同授業研究会
5	土	
6	日	
7	月	SUL
8	火	プロジェクトMAX 学年朝会(2・3年) SUL
9	水	深谷市研究委嘱発表会
10	木	学年朝会(1年) 三者面談①
11	金	渋沢栄一翁語らいの日 三者面談②
12	土	
13	日	
14	月	県民の日
15	火	三者面談③ SUL
16	水	三者面談④
17	木	三者面談⑤
18	金	三者面談⑥
19	土	
20	日	
21	月	後期時間割開始 SUL
22	火	生徒朝会(給食) SUL
23	水	勤労感謝の日
24	木	学校保健委員会 部活動中止
25	金	期末テスト① 緊急連絡サイト運用テスト 部活動中止
26	土	部活動中止
27	日	部活動中止
28	月	期末テスト② SUL 部活動中止
29	火	期末テスト③ 中山道クリーンキャンペーン SUL 朝練習中止
30	水	交通安全指導日 朝練習中止

11月10日(木)から、「三者面談」が始まります。保護者の皆様には、ご多用のところ、お世話になります。

明日の幡羅中のために、ともに進もう! ～ 生徒会役員選挙 ～

10月12日(火)の第5・6校時に、立候補者による立ち会い演説会並びに、生徒会役員選挙が体育館で行われました。

15名の立候補者は、皆、幡羅中学校が前進するためのアイデアと強い信念をもって、力強く演説しました。

はっきりとした返事、大きくメリハリのある声、堂々とした態度に頼もしさを感じました。

生徒会は、立候補者だけでなく、生徒会員全員が同じ目標に向かい、学校生活の向上を目指すものでなければなりません。

全校生徒が、そのことを理解しなければ進展は望めません。「信頼・責任・協力」の校訓のもと、皆で協力して幡羅中の未来を輝かしいものにしていきましょう。



地域とともに歩む学校を目指す ～ 第2回学校運営協議会 ～

10月26日(火)、第2回学校運営協議会を図書室で行いました。今回は、3年生の教室を訪問しての授業参観、各学年主任等による生徒の現状説明、生徒・保護者による前期学校評価の結果報告、現状と課題、働き方改革による部活動の在り方等について学校から説明した後で、委員の皆さんと協議を行い、ご意見をいただきました。委員の皆様、ご多用の中を有り難うございました。



子どもたちを危険から守るために ～ 家庭のルールを考える ～

依然として、SNS(ソーシャル・ネットワーキング・サービスの略)による事件・事故が後を絶ちません。

SNSとは、パソコンやスマートフォン等を通じて社会や人々とつながることができるサービスのことです。言い換えると、インターネットを介して知り合った人と簡単にコミュニケーションがとれるサービスのことです。例えば、InstagramやTwitter、フェイスブック、ラインなどです。

SNSは、発信者の情報に興味を示した人とコミュニケーションを通して、互いの関係性を深め、信用を築いていくものですから、正しく使えば、便利なツールといえます。ですが、考えてもらいたいことがあります。それは、「文字や言葉だけでは、表情が伝わらない」ということです。どんなに美辞麗句を並べられても、それが本心かどうか、わかりません。文字や言葉だけで人を信用するのは、危険です。安易に相手と会うのは非常に危険です。表情の分からないものを簡単に信用せず、危険と隣り合わせであることを理解しておく必要があります。

家庭のルールを考えよう

インターネットを安全かつ適切に利用するためには、お子様の年齢や力量に合わせた手助けが必要です。そこで、お子様の能力・発達および日常生活に見合ったインターネットの使い方を、ご家庭で考えてみましょう。

重要なのは、お子様が納得できるルールを決めること。また、ルールを守らなかった時のための対応も話し合っておきましょう。

STEP 1 初めてのインターネット利用

利用時間を決めてみる

生活のルールやリズムを守ることを前提に、利用時間を決めてみる。慣れてきたら、利用時間を増やしていき、最終的に、自分のペースで利用できるようにしていく。

STEP 2 インターネットレベルアップ

家族間でコミュニケーション

利用時間のルールを守れ、使い方に慣れてきたら、家族間でメールややりとりをしてみましょう。文章の書き方など、上手な気持ちの伝え方をアドバイスしましょう。

STEP 3 SNSデビュー

友人知人とのやりとりもチェック

メールの利用に慣れてきたら、仲の良い友人や知人に限って、SNSやメールを利用してみましょう。家族内でのコミュニケーションを保ち、ときどきやり取りの様子を見せ、使い方をアドバイスしましょう。

STEP 4 SNSレベルアップ

自由に楽しませつつ見守り

家族のルールや社会規範に加え、ネットの特性を理解できる段階になれば、広く活用を許可しましょう。ただし、危険な行為や、犯罪に巻き込まれることを防ぐため、使い方を指導し、必要な注意やアドバイスをしっかり伝えることが大切です。

各段階でのルール

- ゲームやネットを合わせて、使っているのは1日、分までです。
- 保護者に合わせて、近くで使います。夜、寝る前は使いません。リビングで充電します。
- 家の中ではリビングで使います。
- 持ちかけられた手を止め対応します。決まったら人からのメール以外、返信やアクセスはしません。
- 変わったことや困ったことが起きたら、すぐに相談します。
- 公共の場で利用する時は、ルールやマナーを守ります。
- 自分や友だちの個人情報(名前・住所・学校名など)、写真はネットに公開しません。
- メールやSNSは実際に会ったことのある友達だけにします。
- 自分が悪くても悪事や悪口はSNSやメールで送らない。
- 目的をもって利用します。目的が果たしたらスマホから手を離します。
- ネットやSNSで知り合った人とは直接会いません。
- ネットで買ったものや金銭のやり取りをする時は、保護者の許可を得ます。
- ネット上に公開する内容は、送る前にしっかり見直します。
- 他人にIDやパスワードは絶対に教えません。
- 毎月の通信量(料)をチェックし、制限性をもって利用します。

内閣府ホームページより一部抜粋

家庭の「安心ふっかネット」(深谷市PTA連合会提言)

お子様をネットトラブル等から守るために、御家庭の御理解と御協力をお願いいたします。